

第3 事業実施状況

1 地域福祉推進事業

推進項目	事業名	事業概要	事業実績
1 小地域ネットワーク活動の推進	1 阿蘇市やまびこネットワーク活動推進事業	誰もが安心して、安全で快適に暮らせるよう、何らかの支援が必要な方々に近隣の住民が声かけや見守りなどの活動を展開する「阿蘇市やまびこネットワーク活動」を、関係機関や各種団体との連携を深めながら、なお一層の推進を図りました。	1 阿蘇市やまびこネットワーク連絡会議の開催 3月予定のところ、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期 2 地区ネットワーク連絡会への活動支援 (1) 時 期 5月～10月(2地区単位 72回) (2) 箇所数 114地区 参加人数 1,543名 (3) 内 容 住民相互の支え合いシステムを地域単位で行い、市内全域をネットワーク化することで地域の福祉力の醸成に努めた また、地区連絡会を通じて最新情報の提供や地域課題を抽出し、様々な特性をもつ地区連絡会に対しコーディネート機能で支援した ア 持続的な地域支え合いシステムの共通認識及び住民協力 イ 要援護者、地域課題及び社会資源等の情報更新 ウ 災害時要援護者を含めた見守り活動や防災訓練等の支援 エ 地域住民主体による在宅生活支援サービス(買い物、ゴミ出し等)の立ち上げ、生活支援コーディネーターとの協議・連携 オ やまびこネットワーク活動助成金を114地区へ交付 3 職員研修会 (1) 時 期 月1回実施(通年) (2) 内 容 ケースワークについての座学等を実施 スキルアップ及び共通課題への相互理解 4 新任区長研修会の開催 (1) 時 期 4月22日(月) (2) 対 象 新任区長31名 (3) 内 容 社協事業全般について やまびこネットワーク活動推進について

推進 項目	事業名	事業概要	事業実績
			5 視察及び各種団体等への社協事業説明会の開催 (1) 対象 各種団体(民生委員・児童委員、視察団体)等 12 団体 406 名 (2) 視 察 12 団体 406 名(県外 8 か所) (3) 内 容 やまびこネットワーク活動推進について 災害ボランティアセンター及び災害時活動について 6 阿蘇市地域福祉推進フォーラムの開催 (1) 時 期 11 月 15 日(金) (2) 対 象 一般市民 380 名参加 (3) 内 容 地域福祉の推進及び普及啓発 ・基調講演：「ご近所支え合いで 豊かな阿蘇」 ひとちいき計画ネットワーク代表取締役 佐伯謙介氏 ・福祉劇：引きこもり家庭問題をテーマ、社協職員出演 ・パネルディスカッション ・東 2 区自治会副会長、上西老人会会長、上西黒川サロンリーダー、ならぎの急友会代表 7 相談受付 (1) 時 期 通年 25 件 (2) 内 容 地域からの多様な相談を受け付け関係機関へ繋いだ 介護問題へ区長・民生委員と共に解決策を検討した

推進 項目	事 業 名	事 業 概 要	事 業 実 績
2 ボ ラ ン テ ィ ア セ ン タ ー 機 能 の 充 実 と ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 の 推 進	2 阿蘇市ボランティア センター事業	阿蘇市内のボランティアの普及と 活動推進を図り、福祉ニーズに対応 できる活動の養成や活躍の場を提供 しました。	1 ボランティア活動の需給調整(登録、斡旋) (1) 時 期 通年 (2) 内 容 ア 個人、グループ、企業等のボランティアセンター登録、募集 新規登録：個人13件、団体4件 イ 登録ボランティアの紹介、斡旋、情報提供 相談のみ8件、情報提供2件、ボランティア調整9件 ウ ボランティアセンター登録者の登録内容等の更新 2 ボランティア活動保険の加入事務 活動保険加入53件、行事保険加入7件 3 広報誌や訪問等でのボランティア活動の啓発 4 阿蘇市ボランティア連絡協議会の活動支援 (1)会議開催及び事務支援 役員会 6 回、総会 1 回 (2)年間行事の開催 ・交流カフェ開催 令和元年 6 月 13 日(木)18 名参加 ・視察研修 令和元年 10 月 3 日(木) 西原村ボランティア連絡協議会 7 名参加 ・ふれあいまつり企画会議(全 2 回) ・第 5 回阿蘇市ボランティアふれあいまつり 令和 2 年 2 月 16 日(日)阿蘇保健福祉センター 参加者 141 名※スタッフ 55 名、出演者 32 名、一般 54 名 ボランティア活動紹介、ステージイベント及び昼食提供 ・外部団体主催イベントの協力、ボランティアフェスティバル、 共同募金活動等への参加 8 回、延べ 61 名参加

推進 項目	事業名	事業概要	事業実績
			5 ボランティアの養成及び促進 ミナサポ応援隊講座の開催 (1) 内 容 ・学校支援ボランティアに関する一般サポーターを養成 ・市内学校等での福祉教育のサポーター補助役 ・一般住民を対象に、支援を求める方へ寄り添う心を育む ・介護方法等の基礎知識や障がいの理解を深める (2) 日 時：令和2年1月30日(木) (3) 参加者：16名※グループワークには高校生10名参加 (4) 講 座：福祉教育のあり方について(基調講演) 高年齢者、障がい者の理解(講義) 擬似体験時のポイント(演習)、グループワーク 生活支援ボランティア養成及び活動 (1) 時 期 通年 (2) 内 容 自助や地域の互助で解決が難しい在宅の高齢者等に 対し、日常生活の支援を行うボランティアを養成 (3) 周 知 社協だよりなどで活動の周知を図る (4) 実 績 依頼がない為、周知活動を継続 6 各種研修会の参加 (1) ボランティア推進活動者研修会 令和元年7月31日(水)KKRホテル熊本 「コーディネーター(社協職員等)に求められる“力”と“役割”」 (2) その他研修会 市町村ボランティアセンター機能強化研究会議 令和2年1月27日(月)熊本県総合福祉センター 「情報誌ピカピカ作戦！～伝わるツールにするには～」

推進 項目	事業名	事業概要	事業実績
		大規模災害に備え速やかなボランティアセンター設置ができるよう関係機関と連携し、機能充実を図りました。 福祉教育を学校と連携し、体験や講話などプログラムを通して、子供たちの心を育む機会づくりを行いました。	1 災害ボランティアセンター設置訓練及び各仮設団地の清掃活動 (1) 時 期 令和元年 6 月 23 日(日) 参加者：社協職員 52 名、一般 21 名 計 73 名 (2) 内 容 ・ JC、ボラ連、YMCA、学生等による外部スタッフ訓練 ・ 地域婦人会(日赤奉仕団)による災害炊き出し訓練 ・ 被災地模擬演習(仮設住宅の清掃作業を通した屋外演習) ・ 各課における初動体制の見直し 2 災害ボランティアセンター運営に関する検討会議 (1) 内 容 災害ボランティアセンター設置、運営にあたって、業務をより効果的、効率的に遂行するための検討会議を行った (2) 研修会への参加(県社協主催) 令和元年 12 月 10 日(火)ホテル熊本テルサ 「被災地災害ボランティアセンターの支援の在り方について」 1 校長会への参加及び学校訪問 (1) 時 期 校長会：4 月 11 日(木)市役所にて説明 学校訪問：5 月 28 日～6 月 7 日の間で実施 (2) 内 容 各学校長及び福祉教育担当教員と、福祉教育に関する年間授業予定について、情報提供(前年度実績、本事業の目的、意義)をしながら協議し、ボランティア協力校の説明も併せて行った

推進 項目	事業名	事業概要	事業実績
			2 市内学校での福祉教育に関する授業支援 (1) 内 容 福祉についての講話、高齢者、疑似体験、ゲストティーチャーとの交流などを通して、児童、生徒の地域福祉に関する理解を深めるための授業支援を行った (2) ゲストティーチャー ・視覚障害を学ぶ(当事者) 那須野氏、下村氏(盲導犬生活者) ・聴覚障害を学ぶ(ボランティア) 手話サークルわかぎ ・防災を学ぶ 堀川氏(防災士) ・高齢者の理解 林氏(理学療法士) 6月27日(木) 波野中 1.3年生 21名 7月8日(月) 阿蘇中央高校 社会福祉科 1～2年 21名 7月10日(水) 波野中 1.3年生 21名 7月18日(木) 波野中 1.3年生 21名 7月26日(金) 一の宮小・中合同防災教育 小中学生 21名 9月5日(木) 一の宮中 3年生 75名 9月6日(金) 一の宮中 3年生 75名 9月12日(木) 波野中 1年生 9名 9月12日(木) 阿蘇中 3年生 132名 (熊本県主催プロジェクトへの参加) 10月1日(火) 内牧小 5年生 37名 10月8日(火) 内牧小 4年生 59名 1月23日(木) 内牧小 3年生 47名

推進 項目	事業名	事業概要	事業実績
			3 福祉教育推進研究会議(県社協主催)への参加 (1) 時 期 10月4日(金)ホテル熊本テルサ 「福祉教育においてリフレクションの重要性」 (2) 内 容 ボランティアコーディネーターの知識研鑽を図った • その他の研修 熊本学園大学附属社会福祉研究所研究会 「地域＋学校＋福祉教育＝未来の地域人の育成！ ～地域を変えるサービスラーニングの実践～」

推進 項目	事 業 名	事 業 概 要	事 業 実 績
3 生活支援事業の推進	3 ASO出会い応援団事業	少子化の主な要因である非婚化、晩婚化に対応するため、事業実行委員会 CLOVER や各種団体と協働して、出会いの場、交流の場づくりを提供しました。	1 実行委員会及び関係機関との企画会議の開催 (1) 構 成 実行委員会 CLOVER、JA阿蘇青壮年部、阿蘇青年会議所、阿蘇市社会福祉協議会 (2) 場 所 阿蘇保健福祉センター他 (3) 回 数 9 回 (4) 参加者 延べ 70 名 (5) 内 容 年間計画の見直し、交流会活動内容やスタッフ研修会の検討、各団体の情報共有等 2 交流事業 (1) 交流会 1 回目 ア 日 時：令和元年 7 月 26 日(金) イ 会 場：阿蘇市保健福祉センター ウ 内 容：レクリエーション エ 参加人数：男女計 14 名 (2) 交流会 2 回目 ア 日 時：令和元年 9 月 27 日(金) イ 会 場：湯巡追荘 ウ 内 容：食事会 エ 参加人数：男女計 20 名 (3) 交流会 3 回目 ア 日 時：令和 2 年 2 月 1 日(土) イ 会 場：はな阿蘇美 ウ 内 容：いちご狩り、食事会 エ 参加人数：男女計 14 名 3 啓発活動 (1) 社協だより、広報あそ、お知らせ端末等で阿蘇市内へ PR (2) 市内店舗や企業等にてイベントチラシの掲示 (3) 社協HP、他団体 HP、フリーペーパーにて県外への PR (4) JA 阿蘇青壮年部、阿蘇青年会議所等の HP 媒体活用

推進 項目	事 業 名	事 業 概 要	事 業 実 績
	4 フードバンク事業	窮迫した生活困窮者に対して、一時的な食糧支援を行う。また、利用可能な制度に繋げるため、総合的相談に取り組みました。	1 食糧支援実績 (1) 内 容 生活困窮者世帯へ上限 3 日間の食糧支援 (2) 食糧寄贈 個人 2 か所(白米) 企業 2 か所(缶詰、海苔、菓子類) (3) 協力店 2 店舗 (4) 相談件数 9 件(高齢独居 3 件)、一般独居 4 件、子供同居 2 件) (5) 購入支出 8 件(食品代 29,400 円) 2 関係機関との連携 市生活相談支援センター、地域福祉権利擁護事業と情報交換等の連携を図り、食糧支援を行った
4 広 報 活 動 の 充 実	5 広報活動の充実	本会の活動内容の紹介を通じ、身近な最新の福祉情報の提供に努め、多くの方々の役に立つような情報発信を行いました。	1 広報誌「阿蘇市社協だより」の発行 (1) 回 数 年 6 回(隔月) (2) 部 数 1 回 9,800 部 (3) 配布先 市内全世帯(配付は、区長に依頼)のほか、関係機関、団体に配付 2 社協ホームページの情報更新 活動内容の報告及びイベントの周知等の情報発信

推進 項目	事 業 名	事 業 概 要	事 業 実 績
5 地 域 福 祉 権 利 擁 護 事 業	6 地域福祉権利擁護事業〔県社協受託事業〕	県社協地域福祉権利擁護センターと連携しながら、認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など判断能力が十分でない人に対して、福祉サービス利用の援助や日常的な金銭管理などの援助を行い、在宅で自立した生活が送れるよう支援しました。	1 対象者 在宅で生活し、日常生活において医療費や生活費、福祉サービスなどの利用が本人ひとりの管理では困難な方 2 サービス内容 福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等預かり 3 支援体制 生活支援員を配置し、担当制により定期的な訪問支援を行った 4 利用状況等(3月31日現在) (1) 契約者 21名(前年度同期比1名減) ※対象内訳 認知症6名、知的11名、精神3名、他1名 ※契約内訳 新規3件、解約2件、終了2件 (2) 生活支援員 16名(内12名社協職員) (3) 支援回数 382回(前年度比97回減) (4) 相談件数 448件(前年度比133回減) (5) 研修会 県成年後見制度利用促進に関する研修会(4回)6名参加 県社協生活支援員等研修会(1回)3名参加 県生活再生支援対策研修会(1回)2名参加 県社協事業担当職員研修会(1回)1名参加

推進 項目	事 業 名	事 業 概 要	事 業 実 績
6 福祉資金貸付事業	7 生活福祉資金貸付事業〔県社協一部受託事業〕	世帯の経済的な自立や生活意欲の向上、社会参加の促進などを目的に県社協が実施する福祉資金の貸付事業の窓口となり、低所得者・障がい者・離職者・高齢者等の世帯の生活安定の助長を図りました。	1 業務内容 (1) 福祉資金の受付や申請等に係る事務(窓口業務) (2) 貸付に係る各種調査の実施や書類の作成 (3) 担当民生委員・児童委員や同協議会と連携した償還指導や援助活動の実施 2 実績(3月31日現在) (1) 相談件数 36件 (2) 申請件数 0件 (3) 償還完了 3件(うち1件、職権免除) 3 現在の貸付状況 (1) 貸付継続件数 40件 (2) 貸付合計金額 35,811,261円 (3) 正味償還残高 27,474,313円(前年度比2,628,792円減) 4 平成28年度熊本地震特例貸付関係(県社協直轄) (1) 緊急小口資金 120件(15,028,790円)/240件 (2) 災害援護費・住宅補償費 3件(1,767,315円)/3件 5 償還指導 (1)訪問指導 対象25件

推進 項目	事業名	事業概要	事業実績
7 放課後児童健全育成事業	8 放課後児童クラブ運営事業(市受託事業)	保護者が昼間就労等により家にいない児童に対し、授業の終了後、家庭に代わる生活の場を提供し、適切な遊びや学習等の生活指導を行うことにより、児童の健全な育成を図るとともに、保護者の仕事と子育ての両立を支援しました。	1 利用者数 (1) 阿蘇西アイガモ学童クラブ 登録者 61 名(定員 40 名) (2) 内牧スマイルキッズクラブ 登録者 71 名(定員 60 名) 2 児童支援員(補助員)の配置 (1) 阿蘇西アイガモ学童クラブ 14 名 (2) 内牧スマイルキッズクラブ 6 名 3 年間開所日数、延べ利用者数 (1) 阿蘇西アイガモ学童クラブ 開所 268 日、延べ 8,582 名 (2) 内牧スマイルキッズクラブ 開所 278 日、延べ 7,278 名 4 合同会議(福祉課主管) (1) 開催 年間 3 回(6 月・12 月・3 月) (2) 参加 社協、一の宮まどか会、やまなみ会、親子の会 5 学童職員合同研修会 (1) 開催 12 月 17 日(火) (2) 参加 内牧学童・阿蘇西学童職員 (3) 内容 学童職員向け業務マニュアルの理解 6 環境整備 (1) 内牧スマイルキッズクラブ 7 月から体育館 2 階ミーティング室に新教室を開設 (2) 阿蘇西アイガモ学童クラブ 12 月に旧校長住宅から旧低学年棟へ改修後移転

推進 項目	事 業 名	事 業 概 要	事 業 実 績
8 子 育 て 援 助 支 援 活 動 事 業	9 ファミリーサポート センター運営事業(市受 託事業)	乳幼児から小学生までを対象に、 子育て中の保護者に代わって、送迎 や預かりなどを一時的に行う会員制 のサポート活動で、依頼会員と協力 会員のコーディネートを行い、子育 て家庭を支援しました。	1 会員登録数 114 名 内訳 依頼会員 60 名、協力会員 41 名、両方会員 13 名 ※新規入会者 21 名、退会者 4 名 2 利用実績(3 月 31 日現在) 利用子ども人数延べ 59 件、派遣者数延べ 50 件 3 運営活動 (1) 協力会員養成講座 7 月 17 日(水) 修了者数 8 名 内容「基礎講座及び救急法」 (2) フォローアップ講習会 10 月 19 日(土) 受講者数 11 名、託児預かり 5 名 内容「子どもの栄養と食生活」調理実習形式 (3) 会員交流会 参加者数 大人 11 名、子ども 14 名 内容「クリスマス交流会」パネルシアター鑑賞等 (4) 普及周知 各保育施設、お知らせ端末等により事業 PR

推進 項目	事 業 名	事 業 概 要	事 業 実 績
9 各種団体等の事務支援	10 日本赤十字社熊本 県支部阿蘇市地区の事 務局運営	赤十字活動に賛同し、会員増強や 会費募集運動を展開するため、日本 赤十字社阿蘇市地区の事務局を社協 において担いました。	1 日本赤十字社の会員増強運動の支援 2 日本赤十字社の会費募集の協力 (1) 会費の種類 ア 一般会費(500 円以上) イ 法人会費(2,000 円以上) (2) 期 間 5 月の赤十字運動月間を中心に募集 (3) 活動資金総額 3,272,809 円 3 日本赤十字活動の支援 (1) 救援物資配布 4 世帯 7 人(自宅火災) 毛布、緊急セット、下着セット、ビニールシート等 (2) 救急法・救急員養成講座の開催 8 月 10 日(土)・8 月 24 日(土)・8 月 25 日(日) 延べ 22 名参加 (3) 災害炊き出し訓練の開催 ア 阿蘇市災害ボランティアセンター設置訓練 6 月 23 日(日)73 名参加 イ 一の宮小学校と一の宮中学校合同防災教室 7 月 26 日(金)21 名参加 ウ 内牧小学校 4 年生草原体験学習 10 月 8 日(火)59 名参加

推進 項目	事 業 名	事 業 概 要	事 業 実 績
	11 熊本県共同募金会 阿蘇市共同募金委員会 の事務局運営	熊本県共同募金会阿蘇市共同募金 委員会の事務局を社協で担いまし た。	1 阿蘇市共同募金委員会審査委員会 第 1 回審査委員会 4 月 23 日(火) 第 2 回審査委員会 3 月 24 日(火) 2 阿蘇市共同募金委員会運営委員会 第 1 回運営委員会 4 月 23 日(火) 3 赤い羽根共同募金運動 (1) 期 間 10 月 1 日～12 月 31 日(運動期間) (2) 戸別、職域、法人、学校、街頭募金の実施 阿蘇中学校：12 月 2 日間、みやはら内牧店にて街頭募金を実施 (3) 共同募金実績額 4,256,753 円 (4) 配分金 2,735,358 円 (配分先：各ボランティア団体・小中高校など) 4 火災見舞金支援 5 世帯
	12 当事者団体・地域 団体の事務支援	障がい者の当事者団体や福祉活動 を積極的に展開している老人クラブ の活動支援の一環として事務局運営 を支援しました。	1 阿蘇市老人クラブ連合会の事務支援 市連合会、阿蘇支部、一の宮支部、波野支部の事務支援 2 阿蘇市身体障害者福祉協会の事務支援 2019 年度第 16 回熊本県障がい者グラウンドゴルフ大会 期日 5 月 25 日(土)農村公園あびか多目的グラウンド

2 熊本震災復興支援事業

推進 項目	事業名	事業概要	事業実績
10 阿蘇市地域支え合いセンター運営事業	13 阿蘇市地域支え合いセンター運営事業	熊本地震による被災者の支援や孤立防止等のため、生活支援相談員、生活支援補助員による見守りや、専門職種等による生活支援、住民同士の交流機会の提供等を行い、被災者の早期生活再建に向けた支援を行いました。	1 応急仮設住宅等への巡回訪問、日常生活支援に関する相談 (1) 生活補助員が定期的な見守りで、安否確認を行った (2) 生活相談員が必要に応じて訪問、関係機関へ情報を提供した (3) 社協だよりや広報誌等を配布 時 期 H31 年 4 月 1 日～R2 年 3 月 31 日 対 象 応急仮設住宅(5団地)、みなし仮設住宅入居者 内 容 ア 応急仮設住宅 114 世帯(入退居あり) 訪問 404 回 イ みなし仮設住宅 159 件(入退居あり) 訪問 214 回 (4) 仮設退去世帯の支援の有無を確認するため、実態調査を行った 調査対象世帯 222 件 2 再建支援の強化 (1) 再建困難者については、生活再建支援専門員や関係機関と連携 必要に応じて住宅再建における個別相談会等を実施 再建状況確認会議 12 回 (2) 災害公営住宅等の入居に向けて、行政等と連携し、被災者が安心して転居できるよう支援 交流会開催 3 回 3 サロン活動やイベント等の開催 (1) 対 象 応急仮設住宅(5 団地)、みなし仮設住宅入居者 (2) 場 所 各団地みんなの家 (3) 内 容 ア 住民主催サロンの後方支援(計 6 回) 活動の記録(写真撮影、活動報告作成) 事前の周知(チラシ配布)、実施日に出向き後方支援

推進 項目	事業名	事業概要	事業実績
			イ 社協主催イベント 1 回(地域の底力向上研修会) 4 定期会議 (1) 関係機関連携会議 ア 実施回数 隔月(計6回) イ 構成 市福祉課、市住環境課、市ほけん課、地域包括支援センター、県地域支え合いセンター支援事務所、防犯協会連合会、発達障害者支援センター、賃貸住宅経営者協会、阿蘇地域振興局、県すまい対策室等 ウ 内容 住宅再建等における課題、情報共有を行い、関係機関と解決に向けた支援方法を協議 (2) 生活補助員会議 ア 実施回数 月 1 回(計 12 回) イ 構成 各仮設団地の生活補助員、熊本県地域支え合いセンター支援事務所 ウ 内容 仮設団地内の生活状況報告、課題や情報共有を行い、関係機関への繋ぎや解決に向けての支援の検討 5 職員研修、勉強会 (1) 実施回数 2 回 (2) 内 容 支え合いセンター定期勉強会 6 広報、周知 ア ささえあい新聞を作成し、情報発信(12 回) イ 広報誌やお知らせを定期的に配布・発送し情報発信 7 NPO、ボランティア団体等と連携 (1) 対 象 応急仮設住宅、みなし仮設住宅入居者 (2) 場 所 各団地みんなの家 (3) 内 容 ボランティア申込み日程調整6件

3 地域包括支援センター

推進 項目	事業名	事業概要	事業実績
11 高齢者の総合相談の充実と地域支援事業の推進	14 新しい介護予防・日常生活支援総合事業	住民主体の多様なサービスの充実により、介護予防や生活支援の自主的な活動を支援しました。	1 介護予防ケアマネジメント事業 総合事業利用者に対する介護予防ケアマネジメントを行った (1) 総合事業のケアプラン作成 (2) 作成数 74 件/3 月末現在 延べ 940 件(外注含む) 2 通所型サービスC事業(総合事業) (1) 通所型サービスCを市内3か所に委託 申請者 95 名、開催数 333 回 参加延べ人数 1,711 名 令和元年3月～令和2年2月までの修了者 100 名(事業対象者 36 名、要支援者 64 名)のうちセルフケアへの移行者 20 名(20%)、A 事業移行者 50 名(50%) (2) 通所型サービスAのうち波野地区をくまもと健康支援研究所に委託 A 事業への年間申請者は 69 名、うち波野の A 事業(元気クラブ)は実人数 17 名、開催数 36 回、延べ人数 236 名 6 か月の利用終了前には、本人、事業所、生活支援コーディネーターで面談し、介護保険申請や通所型サービスB(元気クラブ)に繋いだ (3) 通所型サービスBをくまもと健康支援研究所に委託 波野地区限定の事業で、元気クラブ終了時の面談にて対象者を決定 10 月から開始し、25 回開催、実人数 9 名、延べ 154 名の参加 住民主体の運営で、養成した介護予防サポーターに担ってもらい、くま健の運動指導士のサポートのもと支援 3 月に評価のための基本チェックリストを取り、新年度からは通所型サービスAに移行

推進 項目	事業名	事業概要	事業実績
			3 介護予防把握事業 市の後期高齢者受給者証交付通知に合わせ基本チェックリストを依頼し 209 件の回答を得た。うち事業対象者が 62 名(29.7%)おり、介護保険認定者を除き、電話で状況を伺い、必要な方には訪問した。一般訪問も併せ 184 回の訪問を行ったが、嘱託看護師の中途退職もあり、後半はほとんど一般訪問ができなかった。総合事業につながったケースが 14 件あった。 4 介護予防普及啓発事業 出前講座開催数 15 地区 306 名 フレッシュセミナー・はつらつセミナーの開催(株)ミタカに委託し、計 5 回開催 60 名参加 5 地域介護予防活動支援 (1) 地域介護予防活動支援 ア ふれあいいきいきサロン活動助成 サロン申請数 97 か所、開催数 4,059 回、延べ 58,975 に対し活動費を支給。助成金額 7,646,800 円 イ 定期訪問活動助成 活動実績地区 36 地区、訪問件数 12,391 件に対し活動費を支給 ウ 生きがい講座開催 4 講座 延べ参加人数 297 名 // 教室開催 11 教室 延べ参加人数 2,624 名 エ サロンリーダー研修開催 4 回 延べ 384 名参加 オ 介護予防サポーター養成講座 (初級、中級、上級、ｽｷﾙｱｯﾌﾟ、ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ)計 22 回 284 名 登録サポーター60 名 カ 中高老年期運動指導士の活動支援 8 件

推進 項目	事 業 名	事 業 概 要	事 業 実 績
			キ サロン後方支援活動支援 延べ 238 名 347 件 6 地域リハビリテーション活動支援 総合事業の事業所研修会での助言 3 回、総合事業事業所評価

推進 項目	事業名	事業概要	事業実績
	15 包括的支援事業	地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進の包括的な支援をおこなうため、地域支援事業の枠組を活用し、医療連携・認知症施策・地域ケア会議・生活支援の充実を図りました。	1 総合相談支援事業(窓口対応) 相談者の状況を把握して、適切なサービスや関係機関及び制度の利用に繋げる等の総合的な支援を行った ア 地域におけるネットワークの構築 イ 実態把握 ウ 総合相談支援 相談件数 延べ 1,619 件 2 包括的、継続的ケアマネジメント支援業務 居宅介護支援事業所及びケアマネージャーに対し、継続的なケアマネジメント作成等の支援を行った ア 包括的・継続的なケア体制の構築 イ 介護支援専門員のネットワークの活用 ウ 日常的個別指導・相談 27 件 エ 支援困難事例等相談への助言等 12 件 3 認知症総合支援事業 ア 認知症初期集中支援チーム員会議の実施 1 回 イ 認知症関係者連絡会議及び研修 4 回 ウ 認知症サポーター養成講座 33 回 受講者延べ 785 人 エ 認知症カフェ 毎月 5 ヲ所開催 参加者延べ 275 人 4 地域ケア会議 ア 第3層地域ケア会議 19 回/モニタリング 18 件 イ 困難事例ケース会議 ウ 第2層地域ケア会議 開催なし エ 先進地区視察研修及び研修会への参加 視察研修会(熊本市保田窪) 1 回、研修会 2 回 5 権利擁護業務 (1) 成年後見制度の活用促進

推進 項目	事業名	事業概要	事業実績
			(2) 高齢者虐待への対応 7 件 (3) 困難事例への対応 22 件 (4) 消費者被害の防止 家庭訪問時注意喚起を随時実施 (5) 成年後見制度研修会への参加 2 回 6 生活支援体制整備事業 高齢者が地域とのつながりや生きがいを持ちながら暮らしていくために、日常生活を支えていく生活支援サービスの整備を図った (1) 第 1 層協議体との連携 (2) 第 2 層協議体の開催 2 回 参加人数 延べ 40 名 (3) 第 3 層協議体(やまびこネットワーク活動)との連携 (4) 波野地区の現状把握のための打合せ会議の開催 7 夜間・休日等相談対応(携帯電話活用) 相談等着信件数 184 件、 関係者への発信件数 37 件
	16 任意事業	地域住民の心身の健康維持や生活の安定や質の向上のため、要介護、要支援状態の対象者及び家族に対し、阿蘇市独自のサービスの提供を行いました。	1 お出かけサービス事業 利用者 月平均 153 名 2 食の自立支援事業 配食提供延べ 649 件 月平均 54 名 3 介護用品支給事業 平均月 83 世帯 4 家族介護慰労事業 利用者 22 世帯 5 高齢者安心ネットワーク体制整備事業 利用者 113 名 6 老人日常生活用具給付事業 契約 4 件 7 施設入所者復帰支援事業 利用なし 8 地域体制整備事業(心配ごと総合相談事業) 相談件数 計 89 回 心配ごと相談 25 件/専門相談 64 件

推進 項目	事 業 名	事 業 概 要	事 業 実 績
	17 指定介護予防支援	介護保険における要支援者の介護 予防ケアマネジメント業務を行いました。	1 予防給付に関するケアマネジメント業務 (1) 利用申し込み～契約締結～アセスメント～介護予防サービス案 作成～サービス担当者会議の開催～給付管理～介護報酬の請求を 行った (2) 保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員による初期段階での早 急の相談対応を行った (3) 専門的、継続的な支援を実施する。 (4) 予防支援ケアマネジメント業務 157 件/3 月末現在 延べプラン作成数 1,886 件 2 指定介護予防支援の業務委託(外注 44 件/3 月末現在)

4 在宅福祉推進事業(在宅介護サービス提供事業)

推進 項目	事業名	事業概要	事業実績
12 介護保険事業等の高齢者への介護サービスの提供	18 訪問介護事業 (ホームヘルプサービス事業)	ホームヘルパーが自宅で、身体介護や生活支援、通院等乗降介助の介護サービス等を提供しました。	1 事業所名 阿蘇市社協ヘルパーステーションあそ 開所日 通年無休営業 2 内 容 要介護判定の利用者宅等で入浴・排泄・食事などの身体介護、調理・洗濯・掃除などの家事援助のほか通院等乗降介助を提供 3 年間実績 利用回数(月間) 7,863 回(655.3) 年間目標比較 22,832,871 円(88.1%)
	19 訪問型サービス A 事業(市事業所指定)	介護予防・生活支援総合事業でのホームヘルパーによる介護サービス等を提供、訪問介護事業所職員が兼務しました。	1 事業所名 阿蘇市社協ヘルパーステーションあそ 開所日 通年無休営業 2 内 容 要支援判定の利用者宅等で、自立支援に繋がる身体介護や生活援助等を提供 1 回 45 分以内のサービス提供時間 3 年間実績 利用回数(月間) 2,097 回(174.8) 年間目標比較 5,436,971 円(99.9%)

推進 項目	事業名	事業概要	事業実績
	20 訪問入浴介護事業	入浴車で自宅を訪問し、ベッドサイドの入浴サービスを提供しました。	1 事業所名 阿蘇市社協訪問入浴春りんどう 開所日 毎週月～土曜日(祝祭日営業) 2 内 容 自宅の浴室では入浴が困難な方に対し、看護師・介護員 3 名体制で、組立式簡易浴槽を使用し、健康管理・入浴サービスを提供 3 年間実績 利用回数(月間) 277 回(23.1) 目標収入比較 3,625,840 円(114.3%)
	21 通所介護事業 (デイサービス事業)	日帰りで施設に通い、利用者の心身機能の維持、家族の身体的、精神的負担の軽減を目的とした介護サービスを提供しました。	1 事業所名 (1) 阿蘇市社協デイセンターごかく 「デイセンター春りんどう」「デイセンターいちのみや」統合 定員 30 名から 40 名に増数 開所日 毎週月～土曜日(祝祭日営業) 年間実績 利用回数(月間) 9,841 回(820) 目標収入比較 72,357,350 円(108.5%) (2) 阿蘇市社協デイセンターなみの 開所日 毎週月～土曜日(祝祭日営業) 年間実績 利用回数(月間) 5,685 回(473.8) 目標収入比較 45,515,910 円(97.1%) 2 内 容 要介護判定の利用者に、生活相談員・看護師・介護職員を配置し、送迎・健康管理・機能訓練体操・食事・入浴・創作活動等を提供

推進 項目	事業名	事業概要	事業実績
	22 居宅介護支援事業 (ケアプラン作成)	ケアプラン(介護サービス計画)を作成し、介護サービスの提供に繋がるケアマネジメント支援をしました。	1 事業所名 阿蘇市社協春りんどう 開所日 毎週月～金曜日 2 内 容 介護支援専門員(ケアマネージャー)が要介護及び要支援判定者に対し、適切な介護サービス等の紹介調整、関係機関(主治医等)の連携、サービス担当者会議等を実施 3 年間実績(月間) 作成数(月間) 1,142 件(95.2) 目標収入比較 15,569,250 円(74.9%)
	23 食の自立支援事業 (市受託事業)	見守り支援を兼ね、調理した宅配弁当を提供しました。	1 事業所名 阿蘇市社協デイセンターなみの 開所日 毎週月、水、金曜の夕食のみ 2 内 容 波野地区で要介護等の独居世帯や夫婦世帯の方に毎週 3 回、弁当形式で普通食や特別食(減塩食・キザミ食等)にも対応 3 年間実績数 配食数(月間) 1,411 食(117.6) 実績 470,600 円 目標収入比較 94.9%

推進 項目	事 業 名	事 業 概 要	事 業 実 績
13 障害者総合支援法等の障害者への介護サービスの提供	24 障害者居宅介護事業（障害者ホームヘルプサービス）	障がい者に対して、ホームヘルパーが自宅で身体介護や生活支援の介護サービス等を提供、訪問介護事業所職員が兼務しました。	1 事業所名 阿蘇市社協ヘルパーステーションあそ 開所日 通年無休営業 2 内 容 障害者支援区分判定の方に、入浴・排泄・食事などの身体介護、調理・洗濯・掃除などの家事援助を提供 3 年間実績 利用回数(月間) 2,969 回(247.4) 目標収入比較 11,434,550 円(85.5%)
	25 障害者生活介護事業（障害者デイサービス）	障がい者が日帰りで施設に通い、利用者の心身機能の維持、家族の身体的、精神的負担の軽減を目的とした介護サービスを提供しました。	1 事業所名 (1) 阿蘇市社協デイセンターごがく 開所日 毎週月～土曜日(祝祭日営業) 年間実績 利用回数(月間) 256 回(21.3) 目標収入比較 2,006,330 円(107.2%) 2 内 容 障害者支援区分判定の方に、生活相談員・看護師・介護職員を配置し、送迎・健康管理・機能訓練体操・食事・入浴・創作活動等を提供

推進 項目	事 業 名	事 業 概 要	事 業 実 績
	26 障害者同行援護事業（視覚障害者外出支援）	障がい者に対して、外出時同行と情報提供の援護を行いました。	1 事業所名 阿蘇市社協ヘルパーステーションあそ 開所日 通年無休営業 2 内 容 視覚障害により移動が著しく困難な方へ、ガイドヘルパー(移動介護従事)が、日常生活を送る上で必要な買い物・通院・交通機関の乗降等の外出全般への同行援護を提供 3 年間実績 利用回数 7 回 目標収入比較 49,150 円(409.6%)
	27 障害者重度訪問介護事業（重度ホームヘルプサービス）	障がい者に対して、ホームヘルパー(重度訪問介護従事修了者)が自宅で、身体介護又は家事援助の全般的な介護サービスを提供しました。	1 事業所名 阿蘇市社協ヘルパーステーションあそ 開所日 通年無休営業 2 内 容 重度の肢体不自由者または重度の知的障害、精神障害により行動上著しい困難を有する方へ、入浴・排泄・食事などの身体介護、調理・洗濯・掃除などの家事援助を提供 3 年間実績 なし

推進 項目	事 業 名	事 業 概 要	事 業 実 績
	28 障害者訪問入浴サービス事業（市受託事業）	障がい者に対して、入浴車で自宅を訪問し、ベッドサイドの入浴サービスを提供しました。	1 事業所名 阿蘇市社協訪問入浴春りんどう 開所日 毎週月～土曜日(祝祭日営業) 2 内 容 肢体不自由等により自宅の浴室では入浴が困難な方に、組立式簡易浴槽を使用し、健康管理・入浴サービスを提供 3 年間実績 利用回数(月間) 166 回(13.8) 目標収入比較 2,075,000 円(115.3%)
	29 障害者移動支援事業（市受託事業）	障がい者に対して、日常生活上で必要な外出時の移動の支援を行いました。	1 事業所名 阿蘇市社協ヘルパーステーションあそ 開所日 通年無休営業 2 内 容 屋外移動が困難な方に、障害者(児)の外出等で、移乗動作等の身体介護を伴わない場合の同行支援を提供 3 年間実績 年間(月間)利用者回数 171 回(14.3) 目標収入比較 857,000 円(119%)

5 法人運営事業

推進 項目	事業名	事業概要	事業実績
14 適正な法人の運営と職員の資質向上	31 役員会・評議員会の開催	本会の運営と事業経営を確実に、適正に、また効果的に推進するために必要な予算・決算、事業計画・事業報告等を審議・決定する会議等を開催しました。	1 定款に基づき次の会議等を開催・実施 (1) 理事会の開催 第1回理事会 6月10日(月) 阿蘇保健福祉センター 次の第1号議案から第8号議案を原案どおり承認 第1号議案 平成30年度事業報告の承認について 第2号議案 平成30年度収支決算の承認について 第3号議案 就業規則の一部改正について 第4号議案 嘱託職員等就業規則の一部改正について 第5号議案 役員候補者の推薦について 第6号議案 評議員候補者の推薦について 第7号議案 定時評議員会の招集について 第8号議案 評議員選任・解任委員会の招集について 第2回理事会 7月4日(木) 阿蘇保健福祉センター 次の第1号議案から第3号議案を原案どおり承認 第1号議案 会長の選任について 第2号議案 副会長の選任について 第3号議案 業務執行理事の選任について 第3回理事会 10月24日(木) 阿蘇保健福祉センター 次の第1号議案から第6号議案を原案どおり承認 第1号議案 令和元年度補正予算案(第1時)について 第2号議案 令和元年度事業中間報告について 第3号議案 令和元年度予算執行状況について 第4号議案 嘱託職員等就業規則の一部改正について 第5号議案 評議員選任・解任委員の選任について 第6号議案 評議員会の開催について

推進 項目	事業名	事業概要	事業実績
			第4回理事会 3月13日(金)阿蘇保健福祉センター 次の第1号議案から第6号議案を原案どおり承認 第1号議案 令和元年度補正予算(第2時)(案)について 第2号議案 令和2年度事業計画(案)について 第3号議案 令和2年度収支予算(案)について 第4号議案 理事候補者の推薦について 第5号議案 評議員候補者の推薦について 第6号議案 評議員選任・解任委員会の開催について 第7号議案 処務規程の一部改正(案)について 第8号議案 給与等支給規程の一部改正(案)について 第9号議案 準職員就業規則の一部改正(案)について 第10号議案 嘱託職員等就業規則の一部改正(案)について 第11号議案 職員再雇用規程の一部改正(案)について 第12号議案 評議員会の開催について (2) 評議員会の開催 定時評議員会 6月26日(水) 阿蘇保健福祉センター 次の第1号議案から第16号議案を原案どおり承認 第1号議案 平成30年度事業報告の承認について 第2号議案 平成30年度収支決算の承認について 第3号議案 就業規則の一部改正について 第4号議案 嘱託職員等就業規則の一部改正について 第5号議案～第14号議案 役員の選任について(理事) 第15号議案～第16号議案 役員の選任について(監事) 第2回評議員会 11月1日(金) 阿蘇保健福祉センター 次の第1号議案から第4号議案を原案どおり承認 第1号議案 令和元年度補正予算案(第1次)について 第2号議案 令和元年度事業中間報告について

推進 項目	事 業 名	事 業 概 要	事 業 実 績
			第 3 号議案 令和元年度予算執行状況について 第 4 号議案 嘱託職員等就業規則の一部改正について 第 3 回評議員会 3 月 27 日(金) 阿蘇保健福祉センター 次の第 1 号議案から第 9 号議案を原案どおり承認 第 1 号議案 令和元年度補正予算(第 2 次)(案)について 第 2 号議案 令和 2 年度事業計画(案)について 第 3 号議案 令和 2 年度収支予算(案)について 第 4 号議案 理事の選任について 第 5 号議案 処務規程の一部改正(案)について 第 6 号議案 給与等支給規程の一部改正(案)について 第 7 号議案 準職員就業規則の一部改正(案)について 第 8 号議案 嘱託職員等就業規則の一部改正(案)について 第 9 号議案 職員再雇用規程の一部改正(案)について
	32 職員研修会	社会人、組織人としての基本的な資質や、多様化・高度化する福祉課題に的確に対応できる専門的な資質の向上を促し、業務遂行能力の高い職員の育成に努めました。	1 日赤熊本県支部阿蘇市地区主催研修の受講 救急員養成講習 全職員の中から 5 名が受講 2 職員自己啓発研修会(全職員) (1) 働き方改革について、マナー及び会計のルールについて(4 月) (2) 生活支援体制整備事業について(5 月) (3) 交通安全講習会(6 月) (4) 平成 30 年度決算について(7 月) (5) 役員、評議員との意見交換会(8 月) (6) 年金制度について(9 月) (7) 認知症について(10 月) (8) メンタルヘルスについて(11 月) (9) 消費者トラブルと対処法について(12 月)

推進 項目	事業名	事業概要	事業実績
	33 資格取得支援制度	業務遂行に必要な資格や専門性の高い資格の取得を奨励・支援しました。 また、資格取得により質の高いサービスを提供できる職員の育成を図り、本会や本会職員に対する市民からの高い信頼・信用の獲得を目指しました。	1 受講料等の費用負担による取得支援 (1) 社会福祉主事任用資格受講 2名 (2) 救急員養成講習 5名 2 職務専念の義務免除 (1) 社会福祉主事任用資格受講 2名 (2) 主任ケアマネ更新研修 2名 (3) ケアマネ更新研修 1名 (4) 精神保健福祉援助実習 1名 (5) ファミサポ協力会員講習会 3名
	34 印紙等売りさばき事業	自主財源を確保するため、収入印紙・収入証紙の売りさばきを受託しました。	1 収入印紙の販売(郵便事業株式会社から受託) 2 収入証紙の販売(熊本県から受託)
	35 社協会費増強	地域福祉事業の財源を確保するため、会費の増強に努めました。	1 一般会員 6,535 戸 金額 3,267,500 円 2 賛助会員 19 戸 金額 19,000 円 3 特別会員 0 戸 金額 0 円 ※ 合 計 3,286,500 円 4 役員、評議員、職員、市内の企業等 本会役職員並びに市内の企業や商店等に賛助会員、特別会員への加入依頼を実施 (H30 年度からの新たな取組み) (1) 役員・評議員 賛助会員 6 名 金額 6,000 円 特別会員 8 名 金額 26,000 円 ※ 合 計 32,000 円 (2) 職 員 賛助会員 58 名 金額 58,000 円 特別会員 12 名 金額 38,000 円 ※ 合 計 96,000 円

推進 項目	事業名	事業概要	事業実績
			(3) 企業等 賛助会員 13 件 金額 13,000 円 特別会員 52 件 金額 214,000 円 (4) 個人 特別会員 1 件 金額 3,000 円 ※ 合計 230,000 円
15 事務 支援	36 阿蘇市シルバー人材センターの事務支援	法人運営の事務支援を行いました。	1 法人運営の事務支援 (1) 法人運営等の事務支援 (2) 会計・経理の事務支援 (3) 事務所の貸与

6 公共施設の受託管理事業

推進 項目	事業名	事業概要	事業実績
16 施設 の 管理	37 市施設の管理受託事業	本会が入居している市施設等を受託事業として管理運営しました。	1 阿蘇保健福祉センター 2 一の宮高齢者・温泉センター ※一の宮温泉センターについては、再委託から嘱託職員を直接雇用し、2 交代制を導入